

## 平成15年度第2回県民活動審議会の概要について

### 1 開催日時・場所

平成15年8月6日(水) 10:00~12:00 山口県庁共用第2会議室(4F)

### 2 出席者

委員 樋口会長 横田副会長 伊妻委員 石川委員 合志委員  
酒井委員 高本委員 西山委員 林委員 平田委員 船崎委員  
(18名中11名出席)  
県 環境生活部次長、県民生活課長、県民活動推進室長ほか職員5名  
オブザーバー 「やまぐち県民活動きらめき財団」藤屋副理事長

### 3 概要

#### (1) 会議概要

「県民活動白書(案)」「県民活動タウンミーティング(案)」「県民活動促進基本計画の推進体制の充実(案)」について事務局から説明を行い、委員から意見を聴取。

#### (2) 主な意見等

県民活動白書(案)について

- ・県民活動という言葉の説明が白書においても必要ではないか。パワーアップ賞受賞団体等の活動事例の写真とともにコラム化するという方法もある。また、一般的でない用語の説明も必要ではないか。
  - ・「ボランティアの数」の項については、活動実数なのか登録者数なのかはっきりさせないと分かりにくい。
  - ・高齢福祉は高齢者福祉、障害福祉は障害者福祉と表記すべきではないか。
  - ・各支援拠点の登録団体は重複登録が多いのではないか。
  - ・各支援拠点(県域関係)の掲載順は総合分野のきらめき財団、支援センターを最初にもってくるべきではないか。教育関係もまとめた方がよい。
  - ・施策の推進方向で「協働事業の推進」とあるが、「協働」の説明が必要ではないか。コラム化するという方法もある。
  - ・市町村における取り組み事例は多いほどよい。大変参考になると思う。
- (県)→ 時間的な制約や枚数の関係もあるので、委員の意見を参考に今年度可能なものと次年度以降に反映させるものに分けて対応したい。

タウンミーティングについて

- ・下関会場でも講演を入れてみたらどうか。阪神大震災のときの学生ボランティアの活躍がNPO結成につながった事例などを話してもらおうと意見交換会にもつながるのではないか。
  - ・事業者や行政のトップも参加してもらったらどうか。地元の市町村にも参加してほしい。
  - ・県民活動団体が大学と協働していく場合の大学側の窓口をPRしてほしい。
  - ・市報やミニコミ誌等を使ったPRもよい。
- (県)→ 地元の団体や大学等とも協議して細部を検討したい。

基本計画の推進体制の充実について

- ・(設置については特に異義はなかった。)
  - ・委員会のメンバーを全く新しくするという考え方もあるのではないか。
- (県)→ 基本計画策定時の委員が適任と考えている。また、現在の審議会委員の残りの任期を考えると前回委員を基本とした編成を考えたい。個々の委員の事情もお聞きしながら次回審議会までには具体案を用意したい。